

## 令和元年度 第2回焼津市自治基本条例推進委員会 会議録

- 日 時 令和元年度 10月11日(金) 13:30～15:00
- 場 所 焼津市役所会議室棟 201号室
- 出席者 自治基本条例推進委員 10名  
松下委員長、関副委員長、古川委員、大石委員、寺本委員、兒玉委員  
中野委員、鈴木委員、向坂委員、近藤委員  
事務局 3名  
堀内課長、緒方係長、鈴木主査
- 次 第 1 開 会  
2 報告事項  
まちづくり市民集会実行委員会について  
3 協議事項  
(1) 施策を2年で成果につなげるイメージについて  
(2) まちづくり市民集会のプログラムについて  
(3) テーマに対する施策の検討  
4 その他

(堀内課長)

本日は、大変お忙しい中、ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

只今から、「令和元年度第2回焼津市自治基本条例推進委員会」を開催します。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず、報告事項として、「まちづくり市民集会実行委員会について」事務局より説明いたします。

#### 実行委員会報告 ～事務局より説明～

(松下委員長)

新元気世代は概ね50歳以上ということだが、輝け！新元気世代とくると50歳以上が対象という感じがする。サブタイトルにみんなで支え合うとあるのだから、若い世代が新元気世代を支える、若い人も含めてどのようなことをしていくかということだとわかる。若い人を引き込むような内容を考える必要がある。

(堀内課長)

続いて、3の協議事項に移ります。推進委員会委員長の松下様、進行をお願いいたします。

(松下委員長)

(1)の施策を2年で成果につなげるイメージについて、そんなに難しく考えるのではなく、市民集会で例えば若い人による新元気世代向けのスマホ教室などの内容やマッチングなどの仕組みを提案してもらって、来年度に市ができそうなものを成果として見える化していく。

推進委員会は、来年度も施策や仕組みが機能しているかをチェックしたり、進めるためにどうしたらいいかなどサポートをしたりしていく。実行委員会では2年目のことはあまり考える必要はなく、来年度は別のテーマを考えてもらえばいい。

今までは話すだけで形になっていなかった。成果の見える化をしようよ、ということ。決まったことの進捗状況は推進委員会が確認、後押しする。成果として目に見えるようになって、それができた理由が自治基本条例となれば推進につながる。

推進委員会と実行委員会の関係だが、市民集会の主体は実行委員会なので、盛り上がることをやればよい。基本は楽しく。推進委員会はその盛り上げ役となる。市の施策を考えながらも少しこうしたらというようにすることなど。推進委員会と実行委員会は両輪で進んでいく。

(2)のプログラムについて、話題提供はあったほうが良い。市民で活躍している人の声を聴く。特にテーマに沿った団体にする必要はない。議員や行政の挨拶は旬な話題に絞るなどして、全体の時間を決める。高校生を呼ぶのは大変良い。高校生に声掛けをして行政との連絡会のような仕組みを作るのもよい。学校側のニーズもわかる。

班の入れ替わりはどちらでもよいと思う。話し合いが軌道に乗ってきたところで席替えとなるとせっかくの議論がということだが、同じ人がしゃべり続けることを阻止するためにも席替えは必要か。

(大石委員)

時間管理をするなら動いたほうがやりやすい。シャッフルしないと長くしゃべる人がいて他の人が話す機会がなくなってしまう。

(松下委員長)

(3)については、話し合いでしっかりとした意見が出るように準備をする必要がある。話題提供に入る前に「新元気世代」で議論するときのきっかけとなる説明をわかりやすく簡潔にパワーポイント数枚程度にまとめて担当者に話してもらおう。

何を議論するかを明確にする。みんながこれを議論すればいいんだなと思えるような説明にする。

1巡目と2巡目になにを話すか方向性を決めておいたほうが良い。どんな内容で話すかだが、2巡目は発表が控えているので新元気世代に関連する取組や仕組みなどを提案してもらおうことになる。提案してもらった内容についてイチオシを選んでもらい発表してもらおう。その発表の中から市でできそうなものについて、R2年度に実施する。

推進委員の皆さんにも自由なご意見を伺いたい。

(近藤委員)

前に三つ折りのリーフレットを配って自治基本条例の周知を行ったが、そういう活動もいいんじゃないか。

(向坂委員)

焼津神社の神輿の縄の結び方について若い子に教えている団体に事例発表してもらったら、伝統継承にもなっているのではないかな。

(鈴木委員)

個人的に頑張っている人など、どこに必要な情報があるかについてわかる化してはどうか。一覧表などを作成してもいいと思う。

(中野委員)

みんなが先生プロジェクトのようなもので、みんながつながっていくにはどうしたらいいか考えたら面白いと思う。若いお母さんたちを呼んで、子育て目線もあるといい。

(兒玉委員)

今までと同じようなということはあまり考えず、こだわらないほうがいいと思う。

(寺本委員)

高齢者の中には、生きている間に自分の知識や知恵を教えたいと思っている人もいます。

(大石委員)

他のイベントとコラボして、参加者を集めお金をかけずにやるのがいい。

(古川委員)

20日に社協でふれあい広場があるので、そこで市民集会の周知ができる。

(関副委員長)

市民集会の模擬をやって、一度テーマについて考えてみることも必要だと思う。

(松下委員長)

皆さん、ありがとうございました。次にその他について、事務局に説明を求めます。

(鈴木主査)

自治基本条例のパンフレットを印刷する。予算がついているので、印刷業者に依頼することになる。啓発についてご意見がある方は事務局にご相談ください。

次回の実行委員会 10月24日(木)に、模擬市民集会は12月12日(木)に101号室で

開催予定。

(堀内課長)

本日は、大変お忙しい中、当委員会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

これもちまして、第1回焼津市自治基本条例推進委員会を終了いたします。

皆様、お気をつけてお帰りください。